

Profile



Middle Army Band
Japan Ground Self-Defense Force

陸上自衛隊中部方面音楽隊

Japan Ground Self-Defense Force Middle Army Band

中部方面音楽隊は、兵庫県伊丹市に所在する方面総監直轄の音楽隊。昭和35年1月に創隊以来、近畿・東海・北陸・中国・四国の2府19県の広範囲にわたり、年間約100回に及ぶ演奏活動を行っています。

主な活動として、隊員の士気高揚のための演奏をはじめ、自衛隊の儀式及び国家的諸行事での式典演奏や、定期演奏会、室内楽演奏会、ファミリーコンサートなどの各種演奏会があり、その他にも各府県市町村及び諸団体の公共的行事に参加し、中部方面隊の活動を幅広く広報しています。

また、学生に対する演奏指導や、レコード会社からの依頼によるCDの録音協力にも積極的に取り組んでおり、地域の皆様から親しまれる音楽隊として活動しています。

音楽隊長 / 3等陸佐 Commanding Officer / Major

柴田 昌宜 SHIBATA masanori

大阪音楽大学卒業（トランペット）、同大学専攻科修了（指揮）。

2003年、陸上自衛隊に幹部候補生として入隊。中央音楽隊所属となり、全国の音楽隊員への教育を担当。2007年から第15音楽隊長（沖縄）を務めたのち、中央音楽隊運用訓練班長を経て、防衛省陸上幕僚監部広報室で陸上自衛隊の広報を担当。2017年3月、第20代中部方面音楽隊長に就任。

この間、東京藝術大学における研修をはじめ、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学国際マスタークラスにおいて指揮のディプロマを取得するなど、国内外において数多くの研鑽を積む。また、米国防総省における日米合同記念式典での指揮やパプアニューギニア国防軍楽隊の育成支援など音楽隊による国際交流にも貢献。

これまでに、指揮を松尾昌美、夏田昌和、P.ギュルケ、作曲法を川島素晴、トランペットを橋爪伴之、D.ドワイヨン、竹森健二の各氏に師事。兵庫県出身。



ソプラノ / 3等陸曹 Soprano / Sergeant

鶴 真衣 TSUGUMI mai

陸上自衛隊中部方面音楽隊のソプラノ歌手。

国立音楽大学、洗足学園音楽大学大学院で声楽を専攻し、2014年に陸上自衛隊で初めてとなる声楽要員として入隊。音楽隊の定期演奏会をはじめ、日本武道館での自衛隊音楽まつりやプロ野球開幕戦での国歌独唱など数多くの演奏会に出演。各レコード会社への録音協力により、自身がフィーチャリングされたCDも多数発売されている。またメディアでは、日本テレビ系列「真相報道パンキヤ!」において特集が放送されるなど幅広く活動している。

南日本音楽コンクール優秀賞、若き音楽家のためのコンクール最優秀賞、フレッシュコンサート最優秀賞と審査員グランプリ賞をはじめ数多くのコンクールに入賞。

これまでに声楽を申田淑子、澤畑恵美、中村智子、ウーヴェ・ハイルマン各氏に師事。石川県金沢市出身。



東大阪市文化創造館

HIGASHIOSAKA Cultural Creation Hall

指定管理者：PFI東大阪文化創造館株式会社

〒577-0034 東大阪市御厨南二丁目3番4号

〔開館時間〕 9：00～22：00（受付は20:00まで）

〔休館日〕 毎月第2火曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

Tel. 06-4307-5772

URL <https://higashiosaka.hall-info.jp/>

アクセス

近鉄奈良線八戸ノ里駅 北約200m 徒歩約5分

※東側に駐車場がございますが、駐車可能台数に限りがございます。ご来館の際には、公共交通機関をご利用ください。